

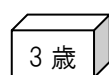
先日のけやきっこわくわくコンサート、コールけやきの皆さん、ボランティアの方々を含め沢山のご協力ご参加に感謝致します。この時期まだまだまとまりかけの子どもたちですが、よくやってくれました。これから先のポテンシャルを引き出すきっかけと雰囲気を感じることができました。今回は改めてコールさんと子どもたちのやりとりや、自然に体が動き出すその様子や姿を「後ろ」から見ていられたことに幸せを感じました。

園生活において、普段年長さんがやっている片付けのパトロールや、七夕の笹取りで年長が他学年に力を合わせて持ってきてくれる姿やこれからの運動会の種目などは、年少さん年中さんたちが目の当たりにして、「年長になったらできること」として頭の中にインプットされています。それらがすごいこと、あこがれ、として残っているからこそ、彼らは年長になったことを喜び、自信にし、凛としてくるのです。これが園の文化というものです。

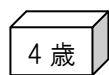
今回のコンサートとこれからやってくる「お泊り保育」は該当学年にならないと本人たちですら目の当たりにすることができないものになります。だからこそドキドキ、ワクワクという緊張・期待・達成感を感じてもらいたい良い機会として私たちは心しかからねば・・・と思っています。年中・少さんにとっては実際に見ておけない点が残念ですが、ある情報筋からあんなことこんなことするらしい・・・というのは毎年うすらわかっているらしいですね。

園ではいろいろな行事や計画が矢継ぎ早に、時には同時並行的にやってきますが、肝心な場面ではその事象に対し、脇目も振らず集中して子どもたちと向き合うことで、その行事・取り組みの思い出と周りの人がしてくれていたことの印象がどれだけ残るだろうかを意識しながら、子どもたちと、一人ひとりと関わっていくことが大切なのだと思います。それが後にその子が伸びる第一歩であり伏線である、と。

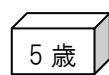
### 今月のねらい（育ってほしい姿や経験してほしいこと）



- ・ 自分で「やってみたい」という気持ちを持って、身の回りの始末など、自発的に取り組もうとする
- ・ 「入れて」「いいよ」などのやりとりの中で、友達と遊ぶ楽しさを知る
- ・ 水遊びやプールあそびを通して、開放感を味わう



- ・ 経験したことをイメージし、ごっこ遊びに取り入れようとする
- ・ 保育者や友達と一緒にいろいろな水遊びを楽しみ、開放感を味わう
- ・ みんなで使うものを大切に扱い、自分でできることをやってみようとする



- ・ 工夫して必要なものを作ったり、様々な表現を楽しむ
- ・ 友達の思いや自分とは違う意見があることに気づき、受け入れたり、遊びや活動の中に取り入れたりしようとする
- ・ グループごとに協力し、助け合い、励まし合って行動できる
- ・ テーマに沿って意見が言えたり、自分たちで1つの納得できる結論をだせる